

クリーンキャンペーンを実施しました



▲であい公園前の清掃風景

**播磨町自治会連合会
喜瀬川等一斉清掃を実施しました**

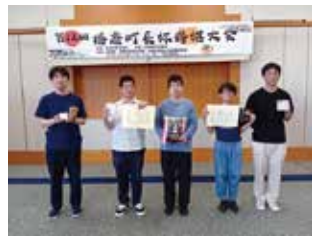
7月6日、喜瀬川に隣接する自治会のほか、水田川、北池、大池、妹池で一斉清掃が実施されました。

朝早くから多くの住民が集まり、捨てられたゴミを拾い集めたり、草刈を行ったり、家族連れや地域の役員の方々が協力して作業していました。

暑い中大変な作業でしたが、河川やため池の美化のために、事前準備や当日の清掃にご尽力いただき、ありがとうございました。

問 協働推進課
079-435-2364

将棋愛好者が集まり、熱戦を繰り広げました



▲一般の部Aの表彰（1～5位）



▲小学校高学年の部の表彰（1～5位）

第12回播磨町長杯将棋大会

毎年恒例となっている播磨町長杯将棋大会が、6月15日に播磨町健康いきいきセンターで開催されました。当日は、倉敷市や吹田市など、各地から将棋愛好者85人が参加しました。

一般の部A・B・C、小学生の部（高学年・低学年）の計5クラスに分かれ、棋力に応じて1人4対局を行いました。今年は参加者の要望を受けてCクラスを新設。初心者も楽しめる大会となりました。町内の出場者も健闘し、複数の部門で上位入賞するなど活躍されたほか、中学校の地域クラブとして活動している将棋教室に通う生徒も参加し、将棋文化を育む貴重な機会となりました。

問 協働推進課
079-435-0565

ブランド蛸の豊漁願い、タコつば350個を海へ



▲天日干しされた干しだこ



▲タコつば投入風景

新島沖にタコつばを投入

播磨町沖で獲れるマダコの安定的な漁獲量を確保するため、播磨町漁業協同組合と播磨町は、8月1日に、新島の沖合で産卵用タコつばを投入しました。秋に産卵シーズンを迎えるマダコが、播磨町の漁礁で産卵しやすい環境をつくることを目的に、毎年実施しています。

同漁協では、水揚げされたマダコを捌き、竹串を刺して、天日干しにする干しだこ作りが、梅雨明け頃から行われています。真夏の強い日差しを浴びることで、タコの旨味が「ギュッ」と凝縮されます。干しだこは、同漁協で販売されているほか、町内小・中学校の給食用に出荷されています。

問 産業環境課 産業経済係
079-435-0304

いいところいっぱい！笑顔いっぱい！みんなでつくるふるさと はりま

住民意識調査結果をお知らせします

▶問合せ 企画課 ☎079-435-0356

調査の概要

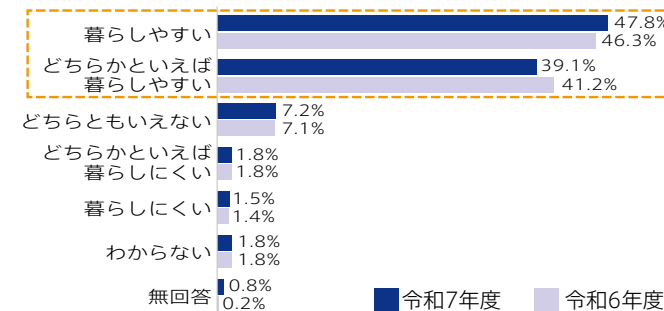
調査対象	町内在住の18歳以上の人 （無作為抽出）
調査期間	令和7年5月1日～5月31日
調査方法	郵送による配布・回収
回収結果	配布数 1,000票 回収数 391票（回収率39.1%）



調査結果

Q 播磨町は暮らしやすいですか

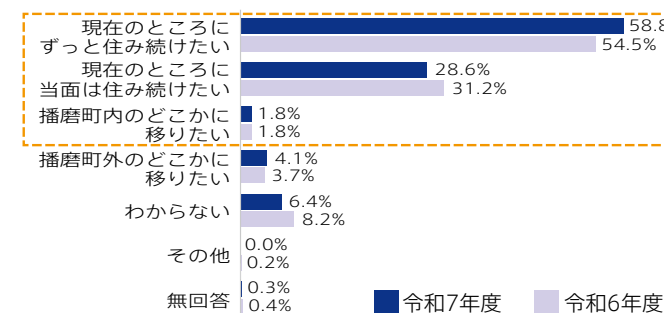
A 暮らしやすい 86.9% 昨年度 87.5%



年代別では、70歳代が「どちらかといえば暮らしやすい」と答えた人が最も多く、それ以外では「暮らしやすい」と答えた人が最も多くなっています。

Q これからも住みたいですか

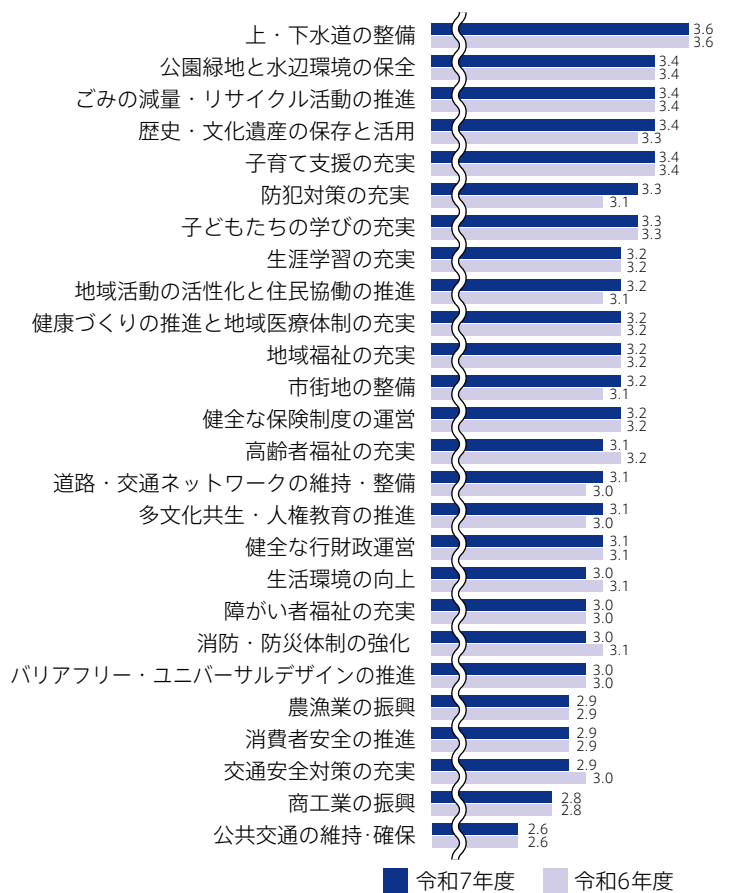
A 住みたい 89.2% 昨年度 87.5%



年代別では、20歳代以外の年代で「現在のところ、ずっと住みたい」と答えた人が最も多くなっています。

Q 主な施策の満足度について

※満足5点、やや満足4点、普通3点、やや不満2点、不満1点。



施策の満足度が最も高い分野は「上・下水道の整備」で、次いで「公園緑地と水辺環境の保全」などとなっています。一方、満足度が低い分野は「公共交通の維持・確保」、次いで「商工業の振興」となっています。

第5次播磨町総合計画後期基本計画及び第3期播磨町総合戦略に係るパブリックコメントを実施します

播磨町では現在、今後のまちづくりの指針となる「第5次播磨町総合計画後期基本計画」とその戦略プロジェクトである「第3期播磨町総合戦略」の策定を進めています。広く町民の皆さまのご意見を募集するため、意見募集（パブリックコメント）を実施します。

期間：9月9日（火）～10月8日（水）

場所：町公式ホームページ、播磨町役場情報コーナー、中央公民館、各コミセン、BiVi土山きっずなホール

提出方法：Eメール、意見箱への投函、郵送、FAX

問合せ先：企画課政策調整係 ☎079-435-0356 FAX 079-435-0609 ✉kikaku@town.harima.lg.jp